

令和8年度 第1回羽島市生涯学習都市推進会議 次第

日 時 令和8年7月7日（火）10時～
場 所 羽島市役所3階 301会議室

1 委嘱書交付

2 会長あいさつ

3 意見交換

羽島市生涯学習都市づくり5か年計画に基づく令和8年度の主な
取組について

【配布資料】

資料1 新しい生涯学習都市づくり5か年計画の推進について

資料2 令和8年度の主な取組について

資料3 事前質問一覧（当日配布）

席次表（当日配布）

令和8年度羽島市生涯学習都市推進会議委員名簿

役職名	氏 名	委 員	備 考
会 長 委 員	松 井 聡		市長
	大 橋 好 三	1 号	さわやかクラブ羽島代表
	小 森 博 昭	1 号	スポーツ推進会議代表
	東 松 功	1 号	PTA 連合会代表
	堀 登 司 仁	1 号	社会教育委員代表
	丸 山 靖 生	2 号	小中学校長会代表
	那 須 貴	2 号	高等学校代表
	岩 田 明	3 号	自治委員会代表
	小 林 美 雪	4 号	学識経験者(元小学校長)
	近藤 かよ子	4 号	学識経験者(元教育委員)
	益 川 浩 一	4 号	学識経験者(岐阜大学教授)
	國 枝 篤 志	5 号	副市長
	森 嘉 長	5 号	教育長
	三 輪 弘 司	5 号	健幸福祉部長
	熊 崎 房 子	5 号	健幸福祉部子育て・健幸担当部長
	堀 一 男	5 号	産業振興部長
	小 川 剛 矢	6 号	障がい者支援団体代表
	浅 野 弓 子	6 号	公募委員
	田谷 由紀子	6 号	公募委員

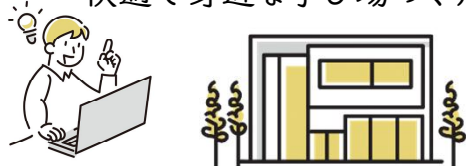
(順不同・敬称略)

委嘱期間 令和9年3月31日まで

基本理念

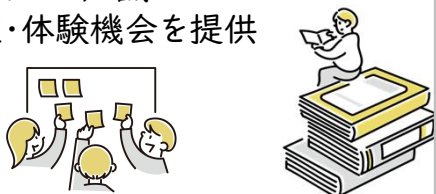
生涯学習を通じたウェルビーイングの実現

快適で身近な学び場づくり



目標1 学びを支える環境整備

生きがい・知識・・・
講座・体験機会を提供



目標2 多様な学習機会の提供

基本方針1

主体的な学びを支える土台づくり

情報誌やSNSの活用
地域課題の情報発信



目標3 幅広い世代に向けた情報発信

学びの深化

6つの目標に向けて
事業を進めることで学びを循環させ
「幸福感のある暮らし」
「地域の活性化」
を目指します

学ぶきっかけ



地域へ還元

学びを支える団体を支援
文化財や天然記念物を守る



目標4 生涯学習団体の支援や資源の保護

基本方針2

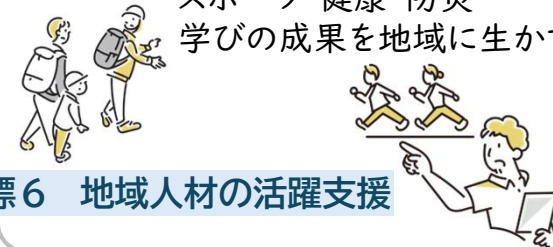
地域を支える学びの仕組みづくり

より深い学びを
より活発な交流の場を



目標5 連携・協働による
学びや活動機会の充実

スポーツ・健康・防災・・・
学びの成果を地域に生かす



目標6 地域人材の活躍支援

生涯学習都市推進会議（検証・協議）

6つの目標に分類した「生涯学習推進のための事業」について、効果的な推進方法の検証や改善に向けた審議・意見交換を、各団体代表や専門知識を持つ委員とともにを行います。

羽島市生涯学習都市づくり5か年計画に基づく

令和8年度の主な取組について

各課、施設の事業より、主な取組を抜粋しています

目標1	学びを支える環境整備	...	P 2.3
目標2	多様な学習機会の提供	...	P 4.5
目標3	幅広い世代へ向けた情報発信	...	P 6.7
目標4	生涯学習団体の支援や資源の 保護	...	P 8.9
目標5	連携・協働による学びや活動 機会の充実	...	P 10.11
目標6	地域人材の活躍支援	...	P 12.13

基本方針 1

主体的な学びを支える土台づくり

【方向性】 ライフステージや社会変化に応じた学びの推進

目標 1

学びを支える環境整備

少子高齢化や地域間格差、生活スタイルの多様化が進む中で、誰もが安心して学びにアクセスできる環境づくりが求められています。

本目標では、生涯学習施設の改修や機能強化を進めるとともに、ICT 環境の整備を推進し、学びの場の拡大・充実と利用しやすさの向上を目指します。また、地域の実情に応じた柔軟な運営や、学習支援体制の充実を図ることで、誰もが自分らしく学べる環境づくりを整えていきます。

施策 (1) 生涯学習施設等の整備

令和8年度 の取組 概要・取組（抜粋）

計画的な施設の整備・改修	施設の整備や改修を計画的に行い、利用者が安全に利用できる環境を整備します。 ・文化センターの非常用発電機部分更新工事及び高圧受変電設備更新関連工事に向けた設計 ・柔剣道道場屋根及び外壁補修工事 ・弓道場防矢ネット設置工事 ・運動公園管理棟照明器具 LED 更新工事
効果的な施設運営の推進	生涯学習施設の効果的な運用を目指して、民間活力の導入を含めた適切な運営を行います。また、運営事業者との連携・協働を推進し、生涯学習の活性化を図ります。 ・指定管理者制度 市民会館、文化センター、各コミュニティセンター、歴史民俗資料館、羽島市柔剣道道場 等 ・ネーミングライツ 不二羽島文化センター、不二竹鼻町屋ギャラリー、コスモパーク羽島
施設の活用促進	ホームページや館内掲示の充実など、生涯学習施設の周知や運営方法を工夫することにより、身近な生涯学習の場として広く活用されるように促します。 ・文化センターなどホームページによる施設利用案内の充実

施策 (2) 誰もが学べる環境づくり

令和8年度 の取組概要・取組（抜粋）	
多様性を踏まえた学びの環境づくり	年齢や性別、障がいの有無、国籍等にかかわらず誰もが学べる環境づくりを進めます ・講演会等での手話通訳の配置 ・多言語対応の災害関連情報提供
インターネット等を活用した学習環境づくり	より多くの市民が等しく学習に参加できるよう、ICT を効果的に活用し、幅広い学習機会を創出します。 ・出前講座の動画配信 ・電子図書館

目標指標

指標名	定義	令和6年度 基準値
		令和12年度 目標値
施設環境に満足している利用者の割合	コミュニティ施設や市民文化施設、スポーツ施設などの生涯学習施設における利用者アンケートのうち、管理状況に対し「満足」と回答した利用者の割合 【主な対象施設】 各コミュニティセンター及び地域交流センター、文化センター、中央公民館、弓道場、柔剣道場、運動公園	85.1%
		95.8%
生涯学習施設の利用回数	コミュニティ施設や市民文化施設、スポーツ施設などの生涯学習施設において貸館を利用した回数 【主な対象施設】 上記指標に同じ	16,914 回
		19,752 回
インターネットを活用した学習環境の利用回数	電子図書館、YouTube チャンネル等、インターネットを介したデジタルコンテンツの利用回数	252,382回 令和5年度値
		262,300回
共生社会に対応したイベントの実施割合	手話通訳や言語等の合理的配慮を行った市主催イベントの実施割合	51.0%
		56.0%

基本方針 1

主体的な学びを支える土台づくり

【方向性】 ライフステージや社会変化に応じた学びの推進

目標 2

多様な学習機会の提供

学びに求められる内容や学ぶ方法が一人一人異なる中、柔軟で選びやすい学びの機会があることは重要です。

本目標では、地域の特色や市民のニーズに応じた講座の計画・開催、体験型プログラムの充実による学習機会の提供などに取り組み、誰もが自分に合った学びを見つけられる環境づくりを推進します。また、交流を通じた学びや、趣味・実用・地域課題など多様なテーマを扱うことで、学びがより身近で、暮らしに根付くものとなることを目指します。

施策 (1) 生涯学習講座の充実

令和8年度 取組概要・取組（抜粋）	
生きがいを育む 学習機会の提供	一人一人が興味や関心に合わせて学べる場を提供し、自ら選択して知識の向上を図ることができるよう、学習機会を充実させます。 ・スポーツ教室 ・ボードゲームイベント ・はしま学事始(社会の現状や課題に焦点を当てた学習会)
生活に必要な 知識の提供	身近な課題や将来への不安に対し役立つ具体的な知識を学ぶ機会を提供し、安心して暮らせる基盤づくりを支援します。 ・防災研修会 ・救命講習、応急手当普及啓発イベント ・スマホ教室 ・交通安全教室 ・認知症サポーター養成講座
子育てに関する 学びの場の提供	妊娠から子育ての過程において役立つ知識を正しく学ぶことができる場を作るとともに、親子の交流を広げる機会とします。 ・パパママ教室(出産や育児等を学ぶ講座) ・離乳食・幼児食教室 ・キッズウイークイベント(CADを使った製作、ギター講座、英語活動) ・赤ちゃんタイム、おはなしひろば(絵本の読み聞かせ)

施策 (2) 体験機会の充実

令和8年度の取組概要・取組（抜粋）	
参加型の体験機会の充実	市民が主体的に参加し、体験しながら学べる機会を充実させることで、知識と交流を深める場を提供します。 ・総合防災訓練 ・放課後子ども教室 ・スポーツ教室
知識に触れる機会の提供	知識に触れる場を提供し、市民が豊かな学びを通じて視野を広げる機会を創出します。 ・環境学習講座 天然記念物イタセンパラと木曽川の自然について学ぼう ・歴史民俗資料館展示やイベント ・竹鼻町屋ギャラリー展覧会

目標指標

指標名	定義	令和6年度 基準値
		令和12年度 目標値
生涯学習講座の実施回数	市が主催した生涯学習講座の実施回数	547回
		574回
生涯学習講座の満足度	市主催の生涯学習講座で実施したアンケートのうち「満足」と回答した割合の平均値	94.5%
		100%
体験機会の提供回数	市が主催した体験イベントの開催回数	190回
		200回
芸術・文化に触れる機会を提供した回数	市が芸術・歴史・文化に関する展示や展覧会を開催した回数	54回
		67回

基本方針 1

主体的な学びを支える土台づくり

【方向性】 ライフステージや社会変化に応じた学びの推進

目標 3

幅広い世代へ向けた情報発信

若年層や子育て世代、高齢者など、世代ごとに情報の受け取り方や関心の持ち方が異なる中で、誰もが学びにアクセスしやすくなるような情報発信の工夫が求められています。また、多様性や環境問題などの課題を自分事として捉えることができるよう、継続的な情報発信が大切です。

本目標では、広報紙や市公式ホームページ、SNSなど多様な媒体を活用した継続的な情報発信に加え、分かりやすく親しみやすい言葉やデザインを用いる工夫、また、学びで得られる効果やメリットが伝わりやすい情報発信により、学びへの関心を高めていきます。

施策 (1) 多様な媒体による情報発信

令和8年度 の取組 概要・取組（抜粋）	
各種媒体による 情報提供	市民が利用しやすい媒体で情報を受け取ることができるよう、紙面、インターネット、SNS、動画配信など、複数の異なる媒体を組み合わせることで情報提供を行います。 ・出前講座の動画配信 ・行政モニターやデジタルサイネージによる講座情報等の発信
学習情報の収集 と効果的な発信	市関係施設や地域の情報を集約し、紙面を工夫して見やすく伝えることで、生涯学習に関する活動や取組を幅広く発信します。 ・広報紙による情報発信 ・生涯学習情報『学び Eye はしま』の発行

施策 (2) 社会課題の情報発信

令和8年度 of 取組概要・取組（抜粋）	
持続可能な未来と地域課題に関する情報発信	市民が自ら地域の課題や、持続可能な社会づくりに目を向け、主体的な行動を促すきっかけとなるよう、多様な情報を発信します。 ・男女共同参画リーフレットの配布 ・異文化理解を深める講座やサークル活動等の国際交流協会事業 ・羽島市防災セミナー ・人権を考える会（人権をテーマとした講演会） ・生涯学習推進市民大会

目標指標

指標名	定義	令和6年度 基準値
		令和12年度 目標値
情報誌に掲載した講座やイベント数	生涯学習情報『学びEyeはしま』に掲載した情報数	143件
		161件
デジタル媒体を活用した情報提供数	市公式の YouTube チャンネル、SNS での発信回数	227回
		259回

基本方針2

地域を支える学びの仕組みづくり

【方向性】 学びによる地域の活性化に向けたアプローチ

目標4

生涯学習団体の支援や資源の保護

地域には、長年にわたり学びの場を支えてきた生涯学習団体や、地域の歴史・文化・自然などの貴重な資源が数多く存在します。

本目標では、地域で活動する生涯学習団体への支援や、地域資源の継承・活用に向けた取組を展開し、地域に根差した学びの基盤を守り育てることを推進します。団体の自主性を尊重しながら、活動の継続や世代間のつながりを支える仕組みを整えることで、地域の学びが次世代へと受け継がれていく環境づくりを目指します。

施策 (1) 団体の主体的な活動への支援

令和8年度 の取組 概要・取組（抜粋）	
団体の主体的な活動への協力	地域団体が主体となって実施する事業を支援し、活動の円滑な推進や効果的な実施に向けたサポートを行います。 ・岐阜羽島ボランティア協会、羽島市スポーツ協会、羽島母親クラブ連絡協議会等市内で活動する各種団体の活動概要を発信 ・教育、文化、スポーツ、国際交流等に関する事業への後援・共催
団体の円滑な運営に必要な経済的支援	地域団体が意義ある活動を継続・発展できるよう、補助金の交付等、必要な支援を行います。 ・文化、青少年、スポーツ等の団体への補助金交付

施策 (2) 地域資源の保護

令和8年度 of 取組概要・取組(抜粋)	
資源を次世代へ受け継ぐための保護・啓発・活用	地域の伝統や歴史的価値を持つ文化資源や、地域に息づく環境資源を後世に伝えるため、保護や啓発、学びの場や観光資源等としての活用を推進し、魅力あるまちづくりにつなげます。 ・竹鼻まつりの山車等文化財の修繕や保存展示、活用 ・羽島美濃菊展の開催、苗の無料配布や講習会等の栽培支援活動 ・イタセンパラの飼育展示

目標指標

指標名	定義	令和6年度 基準値
		令和12年度 目標値
後援・共催申請の承認数	生涯学習に係る事業に関して後援・共催申請を承認した数	26件
		42件
市民活動団体登録数	「羽島市市民活動団体登録制度」に登録し、市公式ホームページで紹介している個人・団体数	18件
		36件
地域資源の保存展示施設数	文化資源、環境資源を保存、展示している公共施設数	8施設
		10施設

基本方針2

地域を支える学びの仕組みづくり

【方向性】 学びによる地域の活性化に向けたアプローチ

目標5

連携・協働による学びや活動機会の充実

地域の課題は複雑化・多様化しています。学びを通じて地域の課題に向き合い、前向きな変化を生み出すためには、市民・団体・企業・教育機関・行政などが立場をこえて協力し合うことが重要です。

本目標では、多様な主体との連携や協働による学びの場づくり、活動機会の創出といった施策を展開し、地域の課題解決や活性化につながる学びの循環を推進します。団体の実践的な経験や視点、大学や企業が持つ専門的な知見や技術を活かしながら、共に考え、共に取り組むことで、地域に根差した学びが育まれる環境づくりを目指します。

施策 (1) 団体との活動機会の創出

令和8年度 の取組 概要・取組（抜粋）	
団体との協力・連携による活動の推進	地域団体と協力し、イベントの企画・運営を行い、学び・交流の場を創出します。住民の参加を促進し、地域の活性化を図ります。 ・教職員、保護者や地域住民などで組織した学校運営協議会の設置及び学校と地域が連携して行う「地域学校協働活動」の実施 ・市内の文化、スポーツ団体等が講師となる放課後子ども教室 ・羽島市食生活改善連絡協議会と連携して行う健康教室

施策 (2) 関係機関との連携による学びの場づくり

令和8年度の取組概要・取組（抜粋）	
特色ある学びの提供	企業、近隣大学などの教育機関、行政等の特色を生かした学びの場を提供します。参加者の意識向上やスキルアップ、実践的な知識の習得を目指します。 ・はしま学事始 ・環境学習講座 天然記念物イタセンパラと木曽川の自然について学ぼう ・羽島市防災セミナー
連携による生涯学習活動の充実	多様な主体との連携や協力を得て、生涯学習活動における新たな場の創出や人材不足等の問題を解決します。 ・放課後子ども教室への学生ボランティア派遣 ・雑誌スポンサー制度

目標指標

指標名	定義	令和6年度 基準値
		令和12年度 目標値
地域人材の協力による子どもの体験活動件数	園児・児童・生徒の活動において、地域人材の協力を得ながら行った体験活動・取組件数	139回 157回
地域団体と協力して行う活動に満足している参加者の割合	放課後子ども教室に参加した児童のうち、アンケートに「参加してよかった」と回答した割合	92.6% 100%
専門家による学習機会で効果を得られた参加者の割合	はしま学事始、生涯学習推進市民大会等のアンケートにて、意識の向上・スキルアップ・満足感を得たかという問いに「得た」と回答した割合	84.9% 100%
関係機関との連携協定数	企業や大学との連携に係る協定締結数	9件 10件

基本方針2

地域を支える学びの仕組みづくり

【方向性】 学びによる地域の活性化に向けたアプローチ

目標6

地域人材の活躍支援

地域には、スポーツなど諸活動の継続的な運営のため指導を担う人、地域文化の継承のため知識を広める人など、それぞれの分野について学びを広げる重要な役割を担う地域人材が必要です。

本目標では、様々な分野において人材を見出し育成する仕組みづくりを行います。あわせて、学びの成果を発揮できる場の創出・支援を推進することで、意欲ある人材が地域において活躍し、主体的に活動するための基盤を整えます。人材が育つことで地域に学びが広がり、学びが地域に根付くこと、また、世代や地域を超えた交流が生まれることにより、市全体の活性化を目指します。

施策 (1) 地域人材の育成

令和8年度 の 取組 概要 ・ 取組 (抜 粋)	
登録制度による 地域人材の把握	市民の能力を地域に生かし、多様な活動に参画することができるよう、様々な活動分野において登録制度を活用し、地域で活躍する人材を見出します。 ・各種スポーツ、レクリエーションの指導者登録 ・羽島市防災コーディネーター、レスキュークロス羽島(応急手当普及啓発団体)会員登録 ・食生活改善推進員登録
地域で活躍する 人材育成と活用	地域社会の発展を支える人材を育成し、その能力を活用する仕組みを構築することで、地域の成長と活性化を目指します。 ・自主防災組織リーダー研修会 ・認知症サポーター養成講座 ・はしまシティカレッジ講師養成講座

施策 (2) 成果を発揮する場の創出

令和8年度 の取組概要・取組（抜粋）	
成果を生かす機 会の提供	学びの成果を実践できる場を提供することで、知識やスキルを更に発展・活用する機会を創出し、地域に学びを広げます。 ・はしまシティカレッジ制度による講座実施機会の提供及び自立した活動への支援 ・食生活改善推進員によるがん検診受診者への減塩野菜摂取の啓発 ・レスキュークロス羽島による応急手当普及啓発

目標指標

指 標 名	定 義	令和6年度 基準値
		令和12年度 目標値
市の地域人材の登録者数	地域人材として登録している指導者やサポーターの人数	498人
		584人
人材育成を目的とした講座や研修の開催回数	登録した人材の育成を目的として開催する養成講座やスキルアップ研修の開催回数	43回
		50回